### 映像を活用した観光推進と地域活性

#### K&Y Distribution LLP 代表 ○岡野 健将

#### 1 活動方針 目的

日本の経済は至るところにひずみと問題を抱え、行き場を失った状態。しかし海外へ目を向けると特にアジア市場では好景気で経済は成長している。幸運にも日本がこれまで培ってきた技術や文化、歴史、産業など海外市場へ展開することで活路を見いだせるものがたくさんあるので、それらを総合的に海外へ発信していくことで、地元経済の活性化と海外からの日本訪問者増を狙い、外貨を獲得することで、結果として日本が元気になる状態を目指している。

#### 2. 活動内容

平成22年度総務省事業「地域コンテンツの海外展開実証実験事業」において、企画が採択され映像作品を製作。その作品はシンガポールの地上波とアジアー帯をカバーする衛生放送局で放送された。その後エアラインでのインフライト番組や韓国でのオンライン配信などで利用されている。作品内で取材した日本酒と、近畿地区の田舎にある酒蔵は本作品をとおして何万人もの視聴者の目の触れるところとなった。

その結果、各酒蔵の商品が売れたり、日本酒に興味をもって日本を訪れる人が増えることを期待している。また酒蔵へ日本酒を飲みに行ってくれたら地方活性にもつながり、波及効果は日本酒業界だけでなく異分野にも広がっていくことを期待している。

映像製作者として、現在の下請け構造から脱却するために海外のテレビ局と仕事をすることで新しい活路を見いだすことも目指している。同時に海外進出や海外から人やビジネスの誘致を目指す企業に同様の手法での広報、広告などを行うツールを提供することで、新しい市場への足がかりや収入源へのアプローチを可能に出来るようにしたいと考えている。

上記作品は、総務省事業では奨励賞を受賞。その後、全国地域映像団体協議会の全国フォーラムで経済産業大臣賞を受賞。

総務省の予算で製作した作品で経済産業大臣賞を受賞するという、省庁の壁を超えた事業 に仕立てあげることで、実際の結果や効果を持って各省庁に連携を促してもいる。

#### 3. 他の活動団体の参考となる事例

チャンスはいつ訪れるかわからない。チャンスが来たら確実にものに出来るように、常に準備をしておくこと。失敗してもそれで終わりではなく、次へつながる何かをそこから見いだすこと。

#### 4. 今後の課題等

常に作品の製作予算を確保できないので、その安定化を目指すためにより多くの実績を効率的に積み上げて、第三者を説得できる状態を作ること。官だけでなく民間からも資金を集めて活動を継続していくこと。



製作者:

K & Y Distribution LLP Executive Producer 岡野健将

### 映像を使った

地域活性・プロモーション・広告/宣伝



テレビ番組を製作して、海外テレビ局で放送

### 平成22年度総務省事業

「地域コンテンツの海外展開実証実験事業」 企画テーマ:地域の資源(食、文化、伝統工芸など) や観光による誘致等



### 企画が採択され、番組を製作

全国で44作品 うち近畿地区からは4作品

ちなみにテレビ局43社、製作会社1社が採択されています

# Do you really know SAKE?





酒通のアメリカ人が語る日本酒の魅力





放送:シンガポールのテレビ局 (視聴可能世帯数 2900万世帯)

Channel NewsAsia (地上波)

Channel NewsAsia International (衛星放送)

### 観光交流部門

### 放送エリア:

シンガポール マレーシア タイ インドネシア ベトナム オーストラリア ニュージーランド ブルネイ インド パキスタン サウジアラビア モンゴル 中国 台湾 香港 韓国 など



### エアライン In-flight Entertainment: (2ヶ月)





オンライン配信: (約40サイト)

韓国の配信サイト

### 上映:

ダボス会議(スイス)での公式晩餐会 "JAPAN NIGHT"

# 外国での視聴者が映像をみて:

- 1) 日本酒を飲んでいなかった人には日本酒 (SAKE) を飲んでもらいたい
- 2) SAKEを飲んでいた人には銘柄を気にしてもらいた
- 3) 銘柄を気にしていた人は、番組内で紹介した銘柄を 探して試してもらいたい
- 4) 銘柄に拘っていた人はSAKEを飲みに、日本に来てほ しい
- 5) 日本に来たら、都心や、酒処ではなく、紹介した 地方にある酒蔵へ行ってほしい

## 今後の課題 💝 資金獲得

対策1:平成23年度総務省事業

企画採択、番組製作、中国で放送 採択企業 全国で15社、近畿は1社(弊社)

対策2:平成23年度総務省3次補正事業

2月21日公募締切、現在結果待ち 公募枠 12枠と15枠

対策3:国際イベントにおいて

企画を直接海外テレビ局に売込み中